【中学校国語】　教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性について

	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
中学校　国語	【内容】 **「言葉の特徴や使い方に関する事項」** ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 **「話すこと・聞くこと」** ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 **「書くこと」** ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。 **「読むこと」** ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	●文脈に即して漢字を正しく使うことができること。 ●必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができること。 ●表現の工夫とその効果について読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすことができること。 ●目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができること。	○漢字についての理解を深め、文章の中で、正しく漢字を使う学習活動の充実。 ○話し合いにおいて、よく聞き、わからないところを質問することで、互いの意見を理解できるようにする話し合い活動の充実。 ○書いた文章について互いに交流をし、よい点や改善点を指摘し合う学習活動の充実。 ○文章の結論や主張に着目し、具体例を削り、文章の背景や意図を考えてまとめる学習活動の充実。

記号の意味

（△）上回っている

（◇）やや上回っている　＋３ﾎﾟｲﾝﾄ

ほぼ同程度　←全国平均正答率

（◆）やや下回っている　－３ﾎﾟｲﾝﾄ

【中学校数学】　教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性について

	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
中学校　数学	**【領域】** **「数と式」** ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	●式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見いだし、数学的な表現を用いて説明すること。	○四則計算への理解をさらに深め、基本的な計算問題を解く学習活動の充実。
	【図形】 △全国平均を上回っている。	●図形の性質や特徴を理解していること。	○基本的な図形の性質を数学的に表現する学習活動を充実させ、論理的思考力の向上を図る。
	【関数】 ▼全国平均を下回っている。	●関数における式・表・グラフの相互関係を理解していること。	○式・表・グラフの表現方法の理解を深める学習活動を充実させ、自分の考えを表現する力の向上を図る。
	【データの活用】 ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	●資料の整理の方法や整理された資料の意味や特徴を理解していること。	○データの整理方法の理解を深め、データの性質を、根拠を持って説明する学習活動の充実。 また、データの傾向を読み取り、数学的に表現する学習活動の充実。

記号の意味

（△）上回っている

（◇）やや上回っている　＋３ﾎﾟｲﾝﾄ

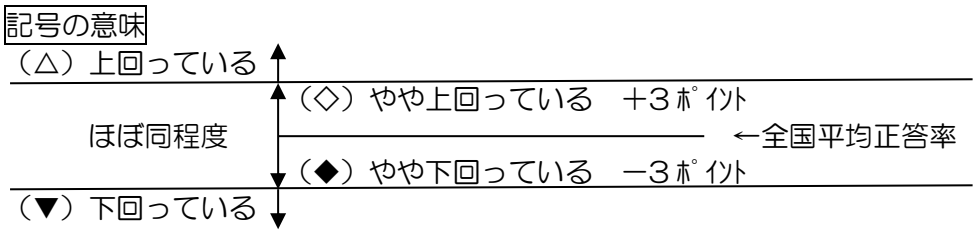
ほぼ同程度　←全国平均正答率

（◆）やや下回っている　－３ﾎﾟｲﾝﾄ

（▼）下回っている

【中学校英語】　教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性について

	課題（本校の概要）	改善の方向
中学校　英語	●日常的な話題に関する内容を聞き、概要を捉えること。 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	○日常的な話題についての会話や短い説明を聞いて必要な情報を捉える練習に加え、要点や時間の経過についても理解して聞き取る学習活動の充実。
	●日常的な話題に関する内容を読み、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ること。 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	○複数の情報を含む内容についての英文を読み、概要を捉え、目的や場面、状況等に応じて、相手が伝えたい要点を読み取る言語活動の充実。
	●社会的な話題に関する内容を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くこと。 ▼全国平均を下回っている。	○基本的な英文を書く機会を増やすとともに、与えられた情報や条件に沿ってその内容に関する賛否や自分の意見、その理由や根拠を明確にしながら内容を整理して英文を書く学習活動の充実。
	●日常的な話題に関するやり取りの中で、概要を捉え、的確に応答したり、自分の考えとその理由を話したりして伝えること。 ▼全国平均を下回っている。	○場面に応じた応答の練習に加え、ある話題に対する自分の考えやその理由についても英語で表現する言語活動の充実。



【 「生徒質問紙」の回答から 】

―人間尊重の教育に係る項目―

「先生はあなたのよいところを認めてくれている」は昨年 93.2%から 94.0%へと上昇し、全国平均(90.9%)を+3.1pt 上回るなど、教師生徒間の信頼関係は極めて高いレベルにあります。一方で、「自分と違う意見について考えるのは楽しい」が昨年の 84.8%から 78.7%へと低下しており、多様な視点に触れて思考を深める経験のさらなる充実が必要だと考えられます。また、「将来の夢や目標を持っている」は 60.6%(全国比-7.0pt)と引き続き大きな課題となっています。キャリア教育を通じ、生徒が将来の夢や目標を具体化できるよう支援していきます。

―ICT の活用に係る項目―

文章作成(90.0%)、情報検索(94.0%)、スライド作成(85.4%)など、端末操作や表現の技能は全国平均を上回る高い数値を保持しています。しかし、「思考ツールや図・表・グラフを使って情報を整理する」能力への自己評価が昨年 77.1%から 63.3%へ(-13.8pt)大きく落ち込み、全国平均(69.4%)を下回りました。ICT を「検索・作成ツール」だけでなく、「思考の整理・分析ツール」へと高める活用場面を学習の中で設定できないか、全ての教科で検討していきます。

―主体的・対話的で深い学びに係る項目―

「友達と協力して課題解決に取り組む」(94.0%)は極めて良好ですが、生徒自らが学びをコントロール・構築する主体的・自己調整的な項目が全体として 10～16pt 低下していました。「自分の考えをまとめる活動」(59.3%、全国比-11.5pt)や「自分にあった教え方・教材になっている」(67.4%、全国比-11.5pt)より、授業に臨む姿勢がやや受け身になっていることが予想されます。学習課題が生徒一人一人のものになっているか、を問い直し、学んだことを自分の言葉で要約・整理する「リフレクション」の活動を充実させることで「自分の考えをまとめる活動」の日常的な定着を図り、生徒自身が学び方を工夫する機会を創出していきます。

―国語・数学・英語に係る項目―

3 つの教科において学習意欲や将来的な有用感の低下が見られました。国語や数学、英語が日常生活や社会の中でどのように役立っているかを理解できる学習題材の設定をすることで、教科と実生活の関連を実感できるような工夫をします。また、つまずきに応じた丁寧な個別指導の充実を目指します。

―家庭生活に関すること―

基本的生活習慣では、毎日朝食を食べる生徒が昨年の 88.5%から 84.7%へ(全国比-6.2pt)、同じ時刻に寝る生徒が昨年の 86.2%から 78.0%へ(全国比-2.5pt)低下しており、生活リズムの乱れが懸念されます。また、学校の勉強について家族と話す生徒は 74.6%(全国比+2.4pt)と比較的良好ですが、学校での悩みについて家族と話す生徒は 36.7%に留まっています。今後も家庭との連携をさらに強め、家庭と学校で協力して生徒のサポートができるように努めてまいります。

人間尊重の教育に係る項目

■相互承認（自己承認、他者への承認、他者からの承認）の感度

質問番号	質問事項	肯定的な回答			全国との差
		本校	北海道	全国	
8	自分には、よいところがあると思いますか	84.7	84.4	84	0.7
9	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	94	91.4	90.9	3.1
10	将来の夢や目標を持っていますか	60.6	67.2	67.6	-7
11	人が困っているときは、進んで助けていますか	91.3	90.3	90.8	0.5
13	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	73.3	70.5	71.9	1.4
14	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	97.4	95.6	95.9	1.5
15	学校に行くのは楽しいと思いますか	90	82.9	85.4	4.6
16	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	78.7	76.5	78.6	0.1
17	友達関係に満足していますか	94	91	91.2	2.8
20	あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか	70	63.7	67.5	2.5
21	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	92.6	90.2	91	1.6

■自治活動

質問番号	質問事項	肯定的な回答			全国との差
		本校	北海道	全国	
33	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	67.3	70.5	72.3	-5
42	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	86	88	87	-1
49	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	86.6	84.8	84.5	2.1
50	学級活動における学級での話合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	80.6	78.2	77.8	2.8

ICT の活用に係る項目

質問番号	質問事項	肯定的な回答			全国との差
		本校	北海道	全国	
36-1	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか	90	87.2	84.8	5.2
36-2	あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか	94	91.6	90.9	3.1
36-3	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか	63.3	71.8	69.4	-6.1
36-4	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか	85.4	84.4	80	5.4

主体的・対話的で深い学びに係る項目

質問番号	質問事項	肯定的な回答			全国との差
		本校	北海道	全国	
22	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	69.3	77.2	78.2	-8.9
38	1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	64	69.2	65.5	-1.5
39	1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	70.6	79.6	78.8	-8.2
40	1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	59.3	70.5	70.8	-11.5
41	1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	67.4	78.4	78.9	-11.5
43	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	77.3	77.9	79	-1.7
44	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか	72.6	77.4	78	-5.4
46	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	94	92.8	92.4	1.6
47	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	84.6	85.2	80.8	3.8

国語・数学・英語に係る項目

質問番号	質問事項	肯定的な回答			全国との差
		本校	北海道	全国	
53	国語の勉強は好きですか	48.6	58.1	57.2	-8.6
54	国語の授業の内容はよく分かりますか	76.7	77.7	76.8	-0.1
55	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	86.7	88.7	88.2	-1.5
61	数学の勉強は好きですか	44.7	53.2	56.1	-11.4
62	数学の授業の内容はよく分かりますか	62.7	71	74.2	-11.5
63	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	60.6	76.5	76.5	-15.9
70	英語の勉強は好きですか	36.6	50.9	51.2	-14.6
71	英語の授業の内容はよく分かりますか	58.7	62.6	64.2	-5.5
72	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	84	86.3	87.6	-3.6
73	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいですか	22	32.2	34.1	-12.1
75	これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビや動画、ホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）	36	33.4	36.6	-0.6

家庭生活に係る項目

質問番号	質 問 事 項	肯定的な回答			全国との差
		本校	北海道	全国	
1	朝食を毎日食べていますか	84.7	88.9	90.9	-6.2
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	78	79.5	80.5	-2.5
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.3	92	92.4	-1.1
6	学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか	74.6	69.1	72.2	2.4
7	学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか	36.7	36.6	36.4	0.3